

教えておおちゃん 放射性物質

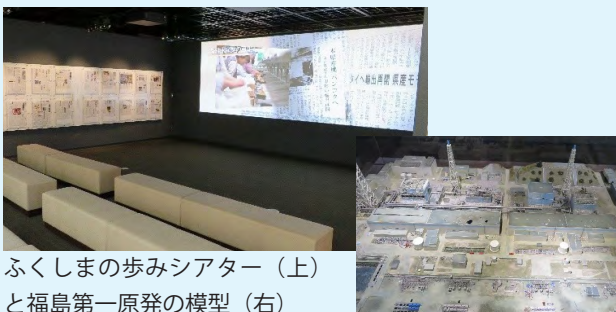


問 大熊町役場いわき出張所 環境対策課

Part.34 コミュタン福島に行ってみよう!

●ふくしまの3.11から

2011年3月11日に発生した地震、津波そして東京電力福島第一原発事故から現在までの福島の復興の歩みを、大型スクリーン「ふくしまの歩みシアター」や模型、年表、当時の新聞記事で振り返ります。11分間の映像では原発事故からの復興の歩みを伝えるほか、事故直後の福島第一原子力発電所の様子を再現した模型も展示しています。



ふくしまの歩みシアター（上）
と福島第一原発の模型（右）

●ふくしまの環境のいま

福島の現在の姿を知ってもらう展示エリアです。原発事故後の現状に関する様々なデータを展示しているほか、河川や湖の水質、大気汚染の状況など福島環境に関する「今」を学べます。中でも2011年3月11日午後2時46分から現在までの経過時間をリアルタイムで表示する「3.11 クロック」は必見で、本県が復興に向けて懸命に歩み、そしてこれからも歩み続ける途中であることを表現しています。

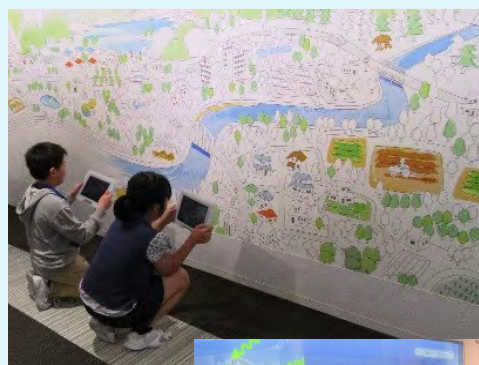


3.11 クロック

●放射線ラボ

体験を通し、放射線を「知る」「測る」「身を守る」「除く」の4つのテーマを学ぶ展示エリアです。五感では感じることでできない放射線とは「どんなものか」「何に気をつければいいのか」など誰もが抱く疑問を、理解しやすいよう体験型展示で答えます。

その一つ「放射線見える化ウォール」は、放射線の種類や放射線の透過能力について、人の動きに反応するディスプレイ上のキャラクターを操作して、ゲーム感覚で学ぶことができます。また、AR（拡張現実）技術を活用した「放射性物質検索ビューアー」は、専用のタブレットを使い、壁画に描かれた様々な地点の原発事故後の状況、取り組みをアニメーションで紹介しています。



放射性物質検索
ビューアー（上）
と放射線見える
化ウォール（右）

